

令和4年度

事業報告及び附属明細書



社会福祉法人 米原市社会福祉協議会

目 次

令和4年度事業報告（概況）	1
I. 第3次まいばら福祉のまちづくり計画の策定・・・・・・・・・・	2
II. 顔の見えるつながりを深める・・・・・・・・・・	2～5
1. 福祉のこころを育みます	
(1) 広報・情報発信	2
(2) 福祉学習・啓発	2
2. 地域や人のつながりを深めます	
(1) 子育て支援	5
III. くらしを守る活動を広げる・・・・・・・・・・	6～29
1. 子どもから高齢者まで一人一人に寄り添います	
(1) 相談支援	6
(2) 権利擁護	6
(3) 介護保険事業	8
(4) 介護予防事業	13
(5) 障がい福祉サービス	14
(6) 放課後児童クラブ	16
(7) 生活困窮者自立支援事業等	17
(8) 生活福祉資金貸付制度・一時援護資金貸付事業	19
(9) その他の生活支援	20
2. 身近な地域で支え合います	
(1) ご近助活動（自治会単位）の推進	21
(2) 福祉活動団体の活動推進	23
(3) 当事者団体の活動推進	24
(4) 地域福祉活動拠点の活用	24
(5) 善意銀行	25
(6) 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金	26
(7) ファミリー・サポート・センター	26
(8) 災害支援体制の構築	28
(9) 災害ボランティアセンターの設置運営	29
IV. 助け合い、支え合う人を育む・・・・・・・・・・	30～33
1. 地域の担い手を育みます	
(1) ボランティアセンター	30
2. 福祉人財を育みます	
(1) 福祉介護人材の育成	32

V. みんながつながるまちをつくる・・・・・・・・・・34～38

1. つながる仕組みを強化します

- | | |
|-------------------------------|----|
| (1) 地域ニーズ・社会資源の把握と情報提供 | 34 |
| (2) 地域支え合いセンター・生活支援サービス基盤整備事業 | 34 |
| (3) 多機関協働事業・アウトリーチ等事業 | 36 |
| (4) 福祉サービス事業者支援と協働 | 37 |
| (5) 社会福祉法人のネットワークの構築・地域貢献推進 | 37 |

VI. 推進体制の充実・強化・・・・・・・・・・39～43

- | | |
|-----------------------|----|
| (1) 評議員会・理事会の運営 | 39 |
| (2) 情報公開と監査機能の充実 | 40 |
| (3) 会員・会費制度の普及促進 | 40 |
| (4) 財政の健全化 | 41 |
| (5) 人材育成と働きやすい職場環境づくり | 41 |
| (6) 事業推進体制の強化 | 42 |

※社会福祉法に規定する事業報告及び事業報告を補足する重要事項である附属明細書を「事業報告及び附属明細書」として一体的に作成しています

－ 令和４年度事業報告（概況） －

我が国の社会保障制度の基礎となってきた「共同体」機能の脆弱化と、人口減少に伴う地域社会の担い手不足が加速する中で、地域共生社会を目指すには、支援の「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域のあらゆる主体が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる地域の育成が求められます。

令和４年度においてもコロナ禍が続き、孤独・孤立の問題がより深刻化・顕在化し、地域における支え合いの重要性が再認識されました。

これらを踏まえて、本会では、身近な地域において、地域住民による共助の取組の活性化を図るとともに、課題を抱える人の発見、相談支援をはじめ各種の事業・サービスを通じた複合化・複雑化する課題への対応、地域の様々な資源を活用した連携の仕組みづくりなどに取り組みました。

見守りネットワーク会議の開催や訪問活動など、地域における見守り活動を推進し、把握した状況や課題から、支援を必要とする人への居場所づくり活動や生活支援の取組につながられるよう、自治会など推進組織の運営・活動支援に取り組みました。

社会的孤立や経済的困窮の課題を抱える人に対し、就労準備支援事業等による就労支援や地域活動への参加支援を行うほか、物資提供事業（フードバンク）、子どもの貧困対策・子どもの育ちを支援する活動としての学習・生活支援活動を推進しました。

令和３年度に引き続き重層的支援体制整備事業に取り組み、支援関係機関の役割分担をはじめ、米原市における包括的な相談支援体制づくりを行うとともに、関係機関とのネットワークや地域活動、各種の事業活動等を通じて潜在的な課題を把握し、必要な支援につなぐ働きかけを行いました。

各種の介護保険サービスならびに障がい福祉サービスにおいては、利用者お一人お一人の自分らしい暮らしの実現に向け、より質の高いサービス提供に努めましたが、一方で、通所介護事業を中心に介護保険サービスの提供による収入確保が厳しい状況が続きました。

こうした状況を含め、今後の安定した法人運営のあり方について検討する中で、法人全体でコスト削減に取り組むとともに、各事業・サービスにおける提供体制の最適化と業務の効率化に取り組みました。

I. 第3次まいばら福祉のまちづくり計画の策定

目 標	第 3 次まいばら福祉のまちづくり計画（第 3 次米原市地域福祉計画・第 4 次米原市地域福祉活動計画）の策定に向けて、令和 4 年度、5 年度の 2 か年で取り組みます。
事業実績	○米原市地域福祉計画推進会議の開催：2 回 ○市民へのアンケート調査：2,000 人 ○福祉事業所へのアンケート調査：50 事業所 ○ふくし座談会の開催：8 回

Ⅱ. 顔の見えるつながりを深める

1. 福祉のこころを育みます

(1) 広報・情報発信

目 標	ご近助活動やボランティア活動、市内の福祉事業者の取り組みなど、市内の様々な福祉活動についての情報を多様なメディアを通じて市民に届け、福祉理解や福祉活動への参加意識を高めます。	
	事業名	内 容
事業計画	広報・情報発信	○社協広報誌「てとて」の発行（年４回） ・市内福祉活動情報誌として発行 ○ホームページやフェイスブックをはじめとしたSNSの充実、QRコードの活用や多様なメディアの積極的な活用と連動 ○地域共生社会フォーラムや福祉懇談会、各種講座での情報発信
事業実績	○ホームページの発信：21 件 ○ブログ・SNS（Facebook）による情報発信：29 件 ○広報てとての発行：4 回（6 月、9 月、11 月、2 月） ○米原市地域支え合いセンター広報紙「つながるまいばら」の発行：2 回（7、2 月） ※米原市民対象の福祉事業所および相談支援事業所（障がい）へ配布	

(2) 福祉学習・啓発

目 標	人権の尊重や支え合い活動の必要性を啓発し、地域共生社会の実現に向けた機運づくりや取り組みを推進します。	
	事業名	内 容
事業計画	地域共生社会フォーラム (社会福祉大会) 【地域づくり】	○市民や団体、事業所などによる地域福祉活動の発表や啓発 ○各関係機関、施設等による講演会等の企画、実施 ○共同募金の啓発
事業実績	地域共生社会フォーラムの開催（１１月２７日） 参加者：３２７名 ○全体会 テーマ：『誰もがともに生きていけるまちづくり ～フル・インクルージョンをめざして～』 講　師：社会福祉法人西宮市社会福祉協議会　アドバイザー　玉木　幸則　氏 ○第１分科会（企画／一般社団法人湖北医師会長浜米原地域医療支援センター） 第１部　講演	

テーマ：『コロナ禍における在宅医療 ～自宅看取りの推移と検死から考えられること～』 講 師：米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」 センター長 中村 泰之 氏 第2部 シンポジウム テーマ：『「最期まで家にいたい」という思いに寄り添って』 ○第2分科会（企画／米原市聴覚障害者協会、社会福祉課） テーマ：『手話で世界を知ろう』 講 師：韓国手話講師 桑原 絵美 氏（日韓・日朝手話通訳者） ○第3分科会（企画／健康づくり課） テーマ：『ストレスと上手に付き合うヒント』 講 師：特定非営利活動法人ゲートキーパー支援センター 理事長 竹内 志津香 氏 ○第4分科会（企画／不登校親の会 relief～リリーフ～） テーマ：『成人期の生きづらさと環境調整の大切さについて ～発達障がいを中心に考える～』 講 師：株式会社アットスクール代表取締役 アットスクール高等学院学院長 鈴木 正樹 氏 ○ブース出展： 福祉活動団体（2）、ボランティアグループ（5）、県社協（滋賀県介護・福祉人材センターひこねセンター）、米原市社会福祉協議会（事業所紹介、災害ボランティアセンター、米原市（ファミリーサポートセンター）、米原市平和の礎実行委員会（社会福祉課） ○赤い羽根共同募金啓発 啓発資材の展示と募金箱の設置		
事業名		内 容
事業計画	福祉学習 【地域づくり】	○福祉学習連絡会議の開催 ・情報交換の実施、取り組みの検討 ・福祉学習プログラムの提案、見直し ○各学校での福祉学習会の開催（当事者、活動団体、福祉事業所の参画を得て実施） ・地域の見守り、支え合い活動への参加促進 ○福祉体験学習の受け入れ ・本会各福祉拠点を活用した受け入れ ・市内福祉事業者による福祉体験の受け入れのための調整 ○出前講座の実施 ・地域や企業への開催の働きかけと実施 ○福祉学習サポーター養成講座の開催
事業実績	○出前講座の開催 開催数：16 件 参加者数：367 人 ○福祉学習連絡会議の開催 ・小学校（11/18） 伊吹・春照・米原・河南・息長・坂田小学校（6人参加） ・中学校（11/19） 柏原・大東・伊吹山・米原・河南・双葉中学校（6人参加） ○福祉学習会の開催：12 校	

【小学校】

- ・ 柏原小学校 4 年（2 回）
インスタントシニア体験、車いす体験、ユニバーサルスポーツ体験（ボッチャ）
- ・ 大原小学校 3 年（2 回）
障がい者の理解（当事者の講話）、車いす体験、ユニバーサルスポーツ体験（ボッチャ）
- ・ 大原小学校 4 年（1 回）
アイマスク体験、ユニバーサルスポーツ体験（ゴールボール）
- ・ 大原小学校 5 年（1 回）
障がい者の理解（当事者の講話）、ユニバーサルスポーツ体験（ボッチャ）
- ・ 伊吹小学校 5 年（3 回）
高齢者ならびに認知症の理解、車いす体験、インスタントシニア体験、高齢者施設との交流（ZOOM）
- ・ 米原小学校 4 年（5 回）
福祉ってどんなこと？、アイマスク体験、車いす体験、ユニバーサルスポーツ体験（ゴールボール、シッティングバレーボール）、高齢者の暮らしについての講話、インスタントシニア体験、ボランティア活動の理解（活動者の講話）
- ・ 河南小学校 4 年（1 回）
インスタントシニア体験
- ・ 息長小学校 4 年（1 回）
車いす体験、ユニバーサルスポーツ体験（ゴールボール）、インスタントシニア体験
- ・ 坂田小学校 4 年（1 回）
車いす体験、ユニバーサルスポーツ体験（ボッチャ、ゴールボール）、アイマスク体験

【中学校】

- ・ 柏原中学校 1 年（1 回）
車いす体験、ユニバーサルスポーツ体験（ボッチャ）
- ・ 大東中学校 1 年（1 回）
福祉ってどんなこと？、車いす体験、ユニバーサルスポーツ体験（ボッチャ）
- ・ 大東中学校 2 年（1 回）
福祉ってどんなこと？、車いす体験、ユニバーサルスポーツ体験（ボッチャ）
- ・ 大東中学校 3 年（1 回）
福祉ってどんなこと？、車いす体験、ユニバーサルスポーツ体験（ボッチャ）
- ・ 米原中学校 3 年（1 回）
福祉の仕事についての理解（福祉事業所の講話）
- ・ 河南中学校 3 年（2 回）
認知症の理解、インスタントシニア体験、車いす体験、ユニバーサルスポーツ体験（ボッチャ）
- ・ 双葉中学校 1 年（3 回）
福祉ってどんなこと？、インスタントシニア体験、認知症の理解

【ふれあいの里フェスティバルにて福祉学習の実施】

- ・ 車いす体験、ユニバーサルスポーツ体験（ボッチャ）

○各学校との事前打ち合わせ：19 回

○学校との連絡調整：93 回

○福祉学習サポーター養成講座の開催（8/25、8/30） 参加者数：22 人

	・福祉学習サポーターの活動回数：5校 延べ 20 人（福祉事業所より、1 事業所 延べ 4 人参加） ・福祉学習サポーターミーティングの開催（3/15） 参加者数：5 人
事業名	内 容
事業計画	平和祈念式典 ○米原市・遺族会との合同による式典の開催 ・恒久平和の実現に向けた啓発
事業実績	○米原市・米原市遺族会との共催により開催（8/6） 参加者数：50 人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を一部縮小して開催

2. 地域や人のつながりを深めます

（1）子育て支援

目 標	親や家族、地域や関係機関が連携しながら、子どもの成長を促す様々な体験や交流・つながりづくりの場を創設するとともに、主体的な活動へ発展するよう支援します。	
事業名	内 容	
事業計画	子育てサークル 育成・支援 【地域づくり】	○子育てサークル育成講座の開催 ・子育て支援センター等関係機関との連携 ○既存サークルの支援、情報交換・交流会の開催 ○子育てサークルに関する情報発信 ○参加者への相談窓口の情報提供等【アウトリーチ】
事業実績	○こもち〜ズ広場（子育てサークル立ち上げ支援事業）の実施 参加者数：11 組（延べ 95 人） ※新規サークル 1 組結成 ・多肉植物の寄せ植え、押し花用の花摘み（6/17） ・押し花と手形でおしゃれフレーム作り（7/1） ・ぼたもち作り（7/8） ・折り紙で鞆作り、サワガニ探し（7/15） ・鱒つかみ、塩焼き（7/22） ○既存サークルへの助成金案内、申請書の記入補助：5グループ ○子育てサークルの情報提供：2件	
事業名	内 容	
事業計画	遊びの広場	○子育て中の親同士、子ども同士の交流および情報交換の場の提供 ・親子ふれあい広場（近江地域） ○遊びの広場の周知とニーズの把握 ○参加者への相談窓口の情報提供等【アウトリーチ】
事業実績	○親子ふれあい広場（やすらぎハウス） 毎週月曜日 参加者数：延べ 432 人 ※内、夏休み期間中（7/22～8/26）毎週金曜日に臨時で追加実施 参加者数：延べ 112 人	

Ⅲ. くらしを守る活動を広げる

1. 子どもから高齢者まで一人一人に寄り添います

(1) 相談支援

目 標	支援を必要とする人からの暮らしの困りごとに対応します。 また、制度の狭間で暮らしづらさを抱える人への寄り添い型の相談支援活動をすすめる とともに、地域やボランティア、サービス事業者などの活動者への相談支援を行います。		
	事業名	内 容	
事業計画	相談支援 ・ アウトリーチ 【アウトリーチ】	○個別の相談を地域支援につなぐコミュニティソーシャルワーカーの配置 ○困りごとを抱えつつも、支援につながっていない方への働きかけを行うアウトリーチのほか、継続的な関わりを行う中で困ったときには困りごとを受け止め対応する ○顧問弁護士との連携	
事業実績	○相談支援窓口 【山東地域】 個人からの相談：106 件 活動者からの相談： 496 件 【伊吹地域】 個人からの相談： 89 件 活動者からの相談： 626 件 【米原地域】 個人からの相談： 56 件 活動者からの相談：1,086 件 【近江地域】 個人からの相談： 16 件 活動者からの相談： 949 件 ○アウトリーチ ・地域へ出向いての相談支援活動等 【山東地域】 181 件 【伊吹地域】 169 件 【米原地域】 359 件 【近江地域】 284 件 ・民生委員児童委員に対する歳末たすけあいに関するアンケートで「支援ニーズを抱える潜在的な相談者」の実態調査を実施（7月配布、8月回収）、回答状況から民生委員児童委員 88 人に電話または面談を行い、45 件の情報提供あり（10～12 月）、2 月単位民児協定例会において結果を報告		

(2) 権利擁護

目 標	成年後見制度利用促進の中核機関として、制度や権利擁護に関する広報・啓発を行うとともに、成年後見制度等の利用にかかる相談を行います。 認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない方などへの支援を行い、地域で安心してその人らしく生活できるよう支援します。	
	事業名	内 容
事業計画	権利擁護センター （一部市委託事業）	○成年後見制度・虐待等の相談窓口 成年後見制度や虐待のほか、権利擁護全般に関するあらゆる相談に応じる。 ・権利擁護相談会の開催 ○成年後見申立支援 親族等の申し立て支援等を行い、制度の利用促進を図る。 ○権利擁護に関する普及・啓発

事業実績	・市民ならびに事業所、関係機関等に権利擁護に関する制度の普及・啓発活動を行う。 ○後見人等への支援 親族後見人のほか、第三者後見人が、適切な後見活動ができるよう相談支援や研修の場の提供を行う。 ○関係機関のネットワーク構築 権利擁護に関する取り組みの普及や連携・調整を行う。 ○意思表示のための「暮らし方ノート」の見直し ○地域福祉権利擁護事業の実施 ・暮らし全体のアセスメントと定期的なモニタリング、支援計画の見直しを行い、生活目標（支援目標）を共有したうえで認知症や障がいのある人への相談と生活支援を行う。 ・福祉サービスの利用援助 ・日常の金銭管理 ・書類等の預かり ○法人後見事業の実施（意思決定支援を基本に、本人の望む生活の実現に向けて支援を行う）																																	
	○地域福祉権利擁護事業 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実 績</th><th>認知症高齢者</th><th>知的障がい者</th><th>精神障がい者</th><th>その他</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談・支援回数</td><td>975 回</td><td>3,668 回</td><td>2,358 回</td><td>80 回</td><td>7,081 回</td></tr> <tr> <td>新規契約件数</td><td>4 人</td><td>1 人</td><td>3 人</td><td>0 人</td><td>8 人</td></tr> <tr> <td>終了件数</td><td>7 人</td><td>0 人</td><td>5 人</td><td>1 人</td><td>13 人</td></tr> <tr> <td>年度末契約数</td><td>14 人</td><td>43 人</td><td>18 人</td><td>1 人</td><td>76 人</td></tr> </tbody> </table> ○法人後見事業 ・受任件数：11 件（補助 1 件／保佐 5 件／後見 5 件） ○普及啓発活動・成年後見サポート ・社協広報「てとて」への権利擁護センターの事業内容の掲載 ・地域福祉権利擁護、成年後見制度の説明 看護小規模多機能ひだまり（6/23） ・出前講座「成年後見制度ってどんなもの」の提供 ケアマネジメントセンターライフ（7/15） ・権利擁護センター運営委員会の開催（7/12、3/13） ・成年後見についての相談および問い合わせ：11 件 ・親族後見人申し立て支援：1 ケース ※申し立てに至らず。 ・市長申し立て支援：1 ケース ・権利擁護支援向上委員会の開催（9/28、2/28） ○ふくしの相談会の開催（7/9） 相談件数：0 件 ○なんでも相談会の開催（3/11） 相談件数：6 件 ○成年後見人のための情報交換会の開催（12/9） 「成年後見人等の意思決定支援について」 ・参加者数：11 人（司法書士 4 人、行政書士 1 人、社会福祉士 1 人、親族後見人 2 人、これから申立を考えている方等 3 人）					実 績	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計	相談・支援回数	975 回	3,668 回	2,358 回	80 回	7,081 回	新規契約件数	4 人	1 人	3 人	0 人	8 人	終了件数	7 人	0 人	5 人	1 人	13 人	年度末契約数	14 人	43 人	18 人	1 人
実 績	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計																													
相談・支援回数	975 回	3,668 回	2,358 回	80 回	7,081 回																													
新規契約件数	4 人	1 人	3 人	0 人	8 人																													
終了件数	7 人	0 人	5 人	1 人	13 人																													
年度末契約数	14 人	43 人	18 人	1 人	76 人																													

(3) 介護保険事業

目 標	介護が必要となっても、住み慣れた地域での生活が続けられるよう、利用者一人一人の暮らしに合わせた専門的で質の高いサービスを提供します。 また、安心して安全なサービスを提供するため、ICTの活用や、新型コロナウイルス感染症や災害への備えを整えるほか、安定的な事業運営に向けた取組を進めます。	
事業 計 画	事業名	内 容
	通所介護事業 ・ 総合事業通所介護	○送迎、健康チェック、入浴および食事、機能訓練、レクリエーション等のサービスの提供 ○機能訓練（利用者の自立支援を目的とした日常生活動作の維持向上、認知症の進行予防を目的とした各種のプログラムの提供） ・リハビリ職との連携による個別プログラム、歯科医等と連携した口腔ケアの実施 ・生活動作訓練、社会参加型活動の実施 ・科学的介護情報システム（LIFE）の活用 ○生活相談（本人や家族介護者の負担軽減へ向けた寄り添い型の支援） ・相談窓口の運営、地域へ出張相談の実施 ・家庭（自宅）訪問による困りごとの把握と対応 ・介護情報の提供 ○地域貢献活動（介護予防・地域福祉活動への支援） ・出前講座による介護予防プログラムの提供 ・福祉体験や実習の受入れ など ○制度外サービスによる多様なニーズへの対応 ・「買い物サポートサービス」、「夕食持ち帰りサービス」の実施 ○デイサービスセンター運営の見直し ・厨房の統合 ・あったかほーむかせの：年度内の廃止 【通常規模型：2事業所】 *デイサービスセンター愛らんど *デイサービスセンターゆめホール 【地域密着型：5事業所】 *東部デイサービスセンターはびろ *あったかほーむかせの *北部デイサービスセンターきたで～ *デイサービスセンター行こ家のとせ *デイサービスセンター寄ろ家うかの
事業 実 績	○広報（たより）の発行 ○運営推進会議の開催 ○リハビリ職と連携したプログラムの実施（はびろ、かせの、きたで～、のとせ） ○歯科医等と連携した口腔ケアの実施（きたで～） ○音楽療法の実施（はびろ、かせの、きたで～、のとせ） ○ちょっと相談所の運営（愛らんど、はびろ、きたで～、のとせ、うかの） ○出前講座の提供：5回（ゆめホール、はびろ、のとせ） ○地域懇談会等への参加：下板並見守りネットワーク会議（2/18）、下板並自治会	

(6/24)、能登瀬自治会 (6/16、3/18)、

○生活支援の実施

・調理支援：4件 (かせの)

・買い物サポート：4件 (かせの、きたで～)

・服薬管理：9件 (愛らんど、ゆめホール、はびろ、きたで～、のとせ)

・衣類預かり：4件 (愛らんど、ゆめホール)

○家庭訪問・安否確認の実施：27件 (ゆめホール、はびろ、きたで～、のとせ)

○緊急預かり：1件 (ゆめホール)

○宿泊サービス：1件 (ゆめホール)

○地域なじみの安心事業：1件 (はびろ)

○地域交流事業：3件 (はびろ、きたで～、うかの)

○ボランティアの受入等

・レクリエーションボランティア：延べ 11 回 (きたで～)

・芸能ボランティア：1 回 (ゆめホール)

・傾聴ボランティア：延べ 7 回 (ゆめホール、うかの)

○実習の受入

・びわこ学院大学施設実習：7件 (ゆめホール、はびろ)

○福祉教育・人材育成

・長浜養護学校職場体験学習 (はびろ)

・双葉中学校職場体験 (うかの)

・大東中学校職場体験 (かせの)

・伊吹小学校車椅子体験学習 (きたで～)

・伊吹小学校リモート交流会 (きたで～)

・柏原小学校リモート交流会 (はびろ)

・介護初任者研修講師派遣 (愛らんど、ゆめホール、はびろ)

・介護入門的研修講師派遣 (きたで～)

○消防訓練、消防設備点検の実施

○サービス提供時等の感染症拡大防止対策の実施

○厨房の統合、業務の一本化 (4月～)

○「あったかほーむかせの」事業所の廃止 (9 月末)

【デイサービスセンター愛らんど】定員：30 人

事業実績

■稼働日数：310 日

■一日平均利用者数：19.0 人

■平均介護度：1.7

■実利用者数：73 人

■新規契約件数：32 件

■契約終了件数：13 件

実績(人)	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延べ利用者数	414	440	451	472	489	499	541	532	533	467	474	582	5,894
前年度	474	489	478	476	422	409	410	384	332	300	299	407	4,880

【デイサービスセンターゆめホール】定員：30 人

■稼働日数：310 日

■一日平均利用者数：14.0 人

■平均介護度：2.3

■実利用者数：53 人

■新規契約件数：11 件

■契約終了件数：16 件

事業実績	実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延べ利用者数	361	372	390	374	398	370	353	349	362	309	329	358	4,325
	前年度	397	393	411	431	411	410	410	404	359	360	354	399	4,739
【東部デイサービスセンターはびろ】定員：10人														
事業実績	■稼働日数：310日 ■一日平均利用者数：9.2人 ■平均介護度：1.9 ■実利用者数：33人 ■新規契約件数：9件 ■契約終了件数：8件													
	実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延べ利用者数	198	216	234	221	249	237	257	260	259	231	225	267	2,854
	前年度	245	238	246	246	237	245	237	244	228	225	194	228	2,813
【あったかほーむかせの】定員：10人														
事業実績	■稼働日数：131日 ■一日平均利用者数：4.5人 ■平均介護度：1.8 ■実利用者数：17人 ■新規契約件数：0件 ■契約終了件数：17件													
	実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延べ利用者数	150	138	130	93	73	9	-	-	-	-	-	-	593
	前年度	174	174	171	149	163	177	158	183	161	148	134	160	1,952
【北部デイサービスセンターきたで〜】定員：10人														
事業実績	■稼働日数：258日 ■一日平均利用者数：8.5人 ■平均介護度：1.5 ■実利用者数：24人 ■新規契約件数：7件 ■契約終了件数：5件													
	実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延べ利用者数	159	180	187	188	197	181	200	208	186	152	170	187	2,195
	前年度	194	205	202	186	175	169	210	186	133	125	107	128	2,020
【デイサービスセンター行こ家のとせ】定員：10人														
事業実績	■稼働日数：310日 ■一日平均利用者数：8.3人 ■平均介護度：1.3 ■実利用者数：38人 ■新規契約件数：11件 ■契約終了件数：11件													
	実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延べ利用者数	185	189	185	199	219	238	236	215	230	219	225	246	2,586
	前年度	225	220	206	216	218	224	226	239	206	195	184	173	2,532
【デイサービスセンター寄ろ家うかの】定員：10人														
事業実績	■稼働日数：310日 ■一日平均利用者数：7.1人 ■平均介護度：2.03 ■実利用者数：20人 ■新規契約件数：5件 ■契約終了件数：3件													
	実績(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延べ利用者数	190	182	174	189	162	172	177	182	197	192	182	194	2,193
	前年度	170	176	171	174	181	195	183	179	172	177	163	187	2,128

事業名		内 容												
事業計画	訪問介護事業 ・ 総合事業訪問介護	○利用者宅での身体介護、生活援助の提供 ○医療やリハビリ等との連携により、終末期までも安心して在宅生活が送れるよう、利用者に寄り添ったサービスの提供と家族介護者への支援 ○地域貢献活動（地域福祉活動への支援） ・ 出前講座（介護技術）の実施 ・ 福祉体験や実習の受入れ など ○制度外サービスによる多様なニーズへの対応 ・「ふれあいよりそいサービス」の実施 【事業所】 ＊ビジットケアあおば												
		■新規契約件数：36 件 ■契約終了件数：18 件 ○サロンへの参加：三吉サロン（5/17） ○実習の受入：4 人 ※びわこ学院大学（8日間） ○出前講座の提供：母の郷（12/3）												
事業実績	実績(人)	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	延べ派遣時間数	740	733	754	788	762	716	728	706	755	648	681	759	8,770
	前年度	783	732	745	728	709	751	713	724	667	691	638	760	8,641
事業名		内 容												
事業計画	小規模多機能型 居宅介護事業	○「通い」を中心に、短期間の「宿泊」や自宅への「訪問」を組み合わせての生活支援や機能訓練の提供 ○利用者や家族に対する生活相談や助言、情報提供 ・ 相談機能の拡充（出張・電話相談 など） ・ 災害時における地域との連携 ○地域貢献活動（介護予防・地域福祉活動への支援） ・ 出前講座（認知症・介護予防プログラム）の実施 ・ 福祉体験や実習の受入れ など 【事業所】 ＊いをぎの家												
		■登録利用者数：月平均 14.5 人 ■延べ利用回数：7,971 回 ■平均介護度：2.1 ■1 日平均利用回数：21.8 人 ■新規契約件数：3 件 ■契約終了件数：3 件 ○運営推進会議の開催：6 回（5/17、7/19、9/20、11/15、1/17、3/14） ○自治会活動への参加：6 回（岩脇自主防災会議、岩脇見守りネットワーク会議 寺倉見守りネットワーク会議、岩脇防災訓練） ○災害時要支援者の個別訪問の実施（8/2、8/3、11/21） ○実習の受入：4 件 ※社会福祉士実習、双葉中学校職場体験 ○ちょっと相談所の運営 毎週月～土曜日（10 時～16 時）												
事業実績														

実績(人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度実績
登録者数		16	15	15	15	14	15	13	13	14	15	15	15	175	195
延べ利用回数	通い	249	251	259	252	241	214	225	223	233	243	233	211	2,834	2,774
	訪問	453	466	434	421	386	355	391	401	420	454	439	419	5,039	5,460
	宿泊	5	7	11	13	12	7	4	9	5	11	7	7	98	131
事業名					内 容										
事業計画		居宅介護支援事業				○要支援・要介護認定を受けた人からの相談を受け、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、他の介護サービス事業者との連絡、調整等を行う。 ○介護・福祉、医療やその他の生活支援サービス、家族、地域の支えあい活動やボランティア活動等を総合的にマネジメントする。 ○相談支援者との連携を強化し、関係機関と地域のネットワーク化を図る。 ・絆バトンの普及啓発、災害時要援護者支援体制の構築 【事業所】 ＊ケアプランセンター米原市社会福祉協議会									
事業実績		■新規契約数：71 件 ■契約終了数：50 件 ○福祉懇談会、個別見守りネットワーク会議等への参加 ・柏原自治会 個別見守りネットワーク会議（5/25） ・上板並自治会 個別見守りネットワーク会議（8/23、12/23） ・伊吹自治会・磯自治会 個別見守りネットワーク会議（9/7） ・藤川自治会 個別見守りネットワーク会議（9/24、12/3） ・高溝自治会 個別見守りネットワーク会議（2/10） ○新規利用者へ絆バトンの有無を確認													
(件)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
給付管理		190	194	201	203	186	201	201	204	202	200	200	200	2,382	
前年度		195	201	195	195	187	185	192	187	186	177	177	196	2,273	

(4) 介護予防事業

目 標	要介護状態となることの予防や要介護状態等の軽減、悪化の防止を目的に、生活機能の低下した高齢者に対し、「心身機能」「活動」「参加」のそれぞれの要素にバランスよく働きかけます。													
	機能訓練を通じた心身機能の改善だけでなく、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を促し、一人一人の生きがいや自己実現につながるプログラムを実施します。													
事業計画	事業名		内 容											
	通所型サービス A （介護予防・日常生活支援総合事業）		○機能訓練の他、認知機能の低下予防や交流の機会を設けるなど、自立した日常生活の確保に向けたプログラムの実施 【事業所】 ＊デイサービスセンターゆめホール ＊デイサービスセンター愛らんど											
事業実績	■稼働日数：208 日 ■登録者数：24 人 ■新規契約件数：10 件 ■契約終了数：9 件 ■延べ利用者数：923 人 ○筋トレマシンを使った機能訓練の実施、自宅で取り組める介護予防体操メニューの提供等													
	実績(人)	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	延べ利用者数	69	71	83	79	77	79	83	81	71	68	71	91	923
	前年度	90	87	95	95	82	98	98	92	98	80	62	84	1,061
事業計画	事業名		内 容											
	高齢者筋力向上トレーニング事業 （楽トレ事業）		○健康づくりと介護予防に向けた意識づけ、自主的・継続的な取り組みにつなげるための支援 ・筋トレマシン講習会の開催（各会場：月 1 回） ・筋トレマシンの地域開放 ・健康教室の開催（健康づくり、介護予防に関する講座／年 2 回：各会場 1 回） 【会場】 ＊伊吹地域福祉センター ＊近江地域福祉センター											
事業実績	○筋トレマシン自主トレーニング 延べ利用者：1,608 人（やすらぎハウス：1,320 人、愛らんど：288 人） ○筋トレマシン講習会 新規受講者：31 人（やすらぎハウス：15 人、愛らんど：16 人） ○健康教室の開催（7/15） 参加者数：13 人 テーマ：『動きやすい身体づくり』 講 師：米田理学療法士（堤整形外科）													

(5) 障がい福祉サービス

目 標	障がいのある人が、地域社会の一員として暮らしていけるよう、関係機関と連携しながら、生活支援や就労支援に取り組みます。														
	サービス提供体制の見直しと強化に取り組み、支援内容の充実と質の向上を図るとともに、求められる支援ニーズに対する事業の拡大に取り組みます。														
事業名		内 容													
事業計画	障がい者相談支援センター ほたる (一部米原市委託事業)		○障がい者（児）とその家族の地域での生活を支援するため、福祉サービスの利用や各種制度の活用、生活上の相談・支援を行い、自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう支援する。 (一般相談／計画相談支援／自立生活援助／地域生活拠点等)												
事業実績	■相談支援件数：延べ 7,761 件 ■新規相談件数：12 件（計画相談ケース：4 件、一般相談ケース：8 件） ■相談支援実利用者数 ・障がい児：8 人（うち計画相談：8 人） ・障がい者：183 人（うち計画相談：153 人） ■自立生活援助実利用者：1 人														
	実績(人)	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	前年度実績
	計画	27	19	12	9	12	7	15	11	12	6	13	26	169	199
	モニタリング	22	23	19	16	21	29	33	19	12	24	17	13	248	275
	合計	49	42	31	25	33	36	48	30	24	30	30	39	417	474
	自立生活援助	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5	7
	事業名		内 容												
事業計画	障がい者ホームヘルプサービス		○障がいのある利用者宅において、身体介護や家事援助、乗降介助を行うほか、行動時の危険を回避するための援護や外出時の移動介護、その他生活全般にわたる援助を行う。 (居宅介護／重度訪問介護／行動援護／同行援護) ○自立生活の支援を目的とした訪問、随時対応 ・「ふれあいよりそいサービス」の実施 ○ICT の活用による効果的・効率的なサービスの提供 【事業所】 ＊ビジットケアあおば												
事業実績	■新規契約件数：2 件 ■契約終了件数：2 件 ○磯区の避難訓練への参加（3/23） ※ご本人とヘルパーで参加 ○実習の受入れ：4 人 ※びわこ学院大学（8日間）														
	実績	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	
	延べ派遣時間数	597	611	659	615	545	598	581	594	604	592	554	565	7,115	
	前年度	635	716	722	800	779	790	773	664	604	546	581	594	8,204	

事業名		内 容																													
事業計画	就労継続支援 B型事業	○就労支援や社会参加の促進を目指し就労の機会を提供するとともに、生産活動等を通じてその知識と能力の向上に必要な訓練等を実施する。 ・リサイクルショップの運営 ・喫茶、駄菓子、花苗等の販売 ・企業内就労、企業の下請け作業 など ○地域とのつながり、地域課題への対応を意識した取り組みの企画・運営 ・独自商品の企画、販売 ・学生服等の回収と販売 ○就労移行の促進と定着に向けた支援の強化 ・施設外就労、施設外支援の促進（企業実習の機会の確保、家庭訪問等の就労定着サポート など） ○一人一人の生活形態を考慮した移行支援（高齢障がい者等に対するサービス移行支援 など） ○個別支援の強化（作業環境の整備 など） ○災害時の地域ネットワークづくり ○「障がいの理解啓発」、「環境啓発」を目的とした講座・イベントの開催（市民参画、他事業所・当事者組織との協働による開催） 【事業所】 *ほおずき作業所																													
	事業実績	○リサイクルショップの運営 ・SNS による広報活動：LINE に加え、Instagram を開設 ・コロナ感染症対策を講じた運営：小規模イベント（売り出し）を開催（秋・冬） ○地域交流事業：音楽療法、リメイク教室の開催（各 1 回） ○利用者支援：精神障がいの方への丁寧な関わりと障がい特性に応じた支援 <table> <tr> <th></th><th>実績</th><th>前年度実績</th></tr> <tr> <td>開設日数</td><td>256 日</td><td>251 日</td></tr> <tr> <td>実利用者数</td><td>27 人</td><td>26 人</td></tr> <tr> <td>就職者数</td><td>0 人</td><td>0 人</td></tr> <tr> <td>延べ利用者数</td><td>5,263 人</td><td>4,968 人</td></tr> <tr> <td>施設外就労（企業内作業）</td><td>267 回/627 人</td><td>395 回/965 人</td></tr> <tr> <td>出前喫茶</td><td>1 回/11 人</td><td>6 回/157 人</td></tr> <tr> <td>移動販売</td><td>48 回</td><td>43 回</td></tr> <tr> <td>延べ来客数</td><td>8,177 人</td><td>7,274 人</td></tr> <tr> <td>延べボランティア活動者数</td><td>91 人</td><td>61 人</td></tr> </table>		実績	前年度実績	開設日数	256 日	251 日	実利用者数	27 人	26 人	就職者数	0 人	0 人	延べ利用者数	5,263 人	4,968 人	施設外就労（企業内作業）	267 回/627 人	395 回/965 人	出前喫茶	1 回/11 人	6 回/157 人	移動販売	48 回	43 回	延べ来客数	8,177 人	7,274 人	延べボランティア活動者数	91 人
	実績	前年度実績																													
開設日数	256 日	251 日																													
実利用者数	27 人	26 人																													
就職者数	0 人	0 人																													
延べ利用者数	5,263 人	4,968 人																													
施設外就労（企業内作業）	267 回/627 人	395 回/965 人																													
出前喫茶	1 回/11 人	6 回/157 人																													
移動販売	48 回	43 回																													
延べ来客数	8,177 人	7,274 人																													
延べボランティア活動者数	91 人	61 人																													
事業名		内 容																													
事業計画	地域生活支援事業	○移動支援事業 障がいのある方の外出等、移動に関わる援助を行う。 ○日中一時支援事業 介護者の一時的な休息や就労支援のために、日中における障が																													

		いのある方の活動の場を確保する。 【サービス提供場所】 * 東部デイサービスセンターはびろ * デイサービスセンター 寄ろ家うかの * コーポラスきたがわ 他 【事業所】 * ビジットケアあおば												
事業実績	【移動支援事業】 ■ 新規契約件数：2件													
	【移動支援事業】													
	実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延べ派遣 時間数	81	95	131	103	82	85	98	98	84	79	97	123	1,156
	前年度	94	99	101	100	66	66	80	73	95	53	46	73	946

(6) 放課後児童クラブ

目 標	子どもたちの思いをしっかりと受け止め、一人一人に応じた支援の充実を図り、保護者と支援員とが一緒になって、子どもたちが安全に安心して成長できる居場所を提供します。													
事業名				内 容										
事業計画	放課後児童クラブ （市委託事業）			○児童の「遊び」と「生活」の支援 ○保護者会との連携強化（連絡会議、協働事業等） ○行政と連携した研修の実施 【事業所】 ＊げんきッズ息長 A ＊げんきッズ息長 B										
事業実績	○避難訓練の実施（6/29） ○保護者会活動の支援 ※アンケートの実施 ○市および小学校との連携													
	【げんきッズ息長 A・B】													
	実績	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	開設日数	20	19	22	20	20	20	20	20	20	19	19	22	241
	実利用者数 （A）	19	16	16	27	27	16	16	16	17	18	16	21	
	実利用者数 （B）	32	14	14	40	39	14	14	14	22	24	14	29	
	延利用者数 （A）	268	244	306	308	319	269	254	251	259	243	248	304	3,273
	延利用者数 （B）	282	216	255	379	460	215	235	225	239	215	184	283	3,188
	延利用者数 （AB 計）	550	460	561	687	779	484	489	476	498	458	432	587	6,461

(7) 生活困窮者自立支援事業等

目 標	社会的孤立や経済的困窮などの課題を抱える方に対し、就労準備支援事業等による就労や地域活動への参加などの社会参加支援、家計改善支援による家計再建の支援を行います。 子どもの貧困対策・子どもの育ちを支援する活動として、学習・生活支援活動や社会交流活動を推進します。	
	事業名	内 容
事業 計 画	就労準備支援事業 (市委託事業) ・ 被保護者就労準備支援等事業 (市委託事業) ・ 参加支援事業 (市委託事業)	○本人の状態に応じた日常生活自立・社会生活自立・就労自立に関する支援を行う。 ○生活習慣確立のための支援(訪問活動や居場所の提供などにより、生活リズムづくりを支援) ○社会体験・社会参加活動の支援 人・地域とのつながりが実感できるよう、居場所への参加・社会活動への参加、就労へとつながる支援とともに、それらの受け皿となる社会資源づくりを行う。 ○就労体験・就労支援 本会の活動拠点やサービス事業を活用し、社会体験や就労体験の場を提供するとともに、地域活動や企業・事業所、団体等との連携を図り、地域での社会体験・就労体験の場づくりを進める。 ○就職活動の知識や技法の習得支援(PCの練習、履歴書作成などの支援、基礎学力向上を目指した学習の機会の提供)
事業 実 績	【就労準備支援事業】 ■プラン作成件数：2件(※新規プラン1件) ■プラン評価件数：1件 ■相談支援回数：72回 ○居場所の開設・内職作業の提供 ・提供日数：130日 延べ参加者数：124人 ○社会体験・就労体験(駅前駐車場清掃、農作業、落ち葉清掃、洗車作業) ・提供日数：41日 延べ参加者数：41人 【被保護者就労準備支援事業】 ■プラン作成件数：1件(※新規プラン1件) ■プラン評価件数：0件 ■相談支援回数：6回 ○居場所の開設・内職作業の提供 ・提供日数：1日 延べ参加者数：1人 【参加支援事業】 ■プラン作成件数：13件(※新規プラン6件、再プラン7件) ■プラン評価件数：7件(※再プラン継続5件) ■相談支援回数：192回 ○居場所の開設・内職作業の提供 ・提供日数：95日 延べ参加者数：211人 ○社会体験・就労体験(駅前駐車場清掃、農作業、居場所運営、UVレジジン製作、編み物活動、ゆめホールの清掃作業、フードバンクの仕分け作業) ・提供日数：111日 延べ参加人数：219人	

	○社会資源開発 協力企業、団体などの社会資源について部署を越えて、協働推進課と連携しながら社会資源の把握、開拓に取り組んだ。(26 件)	
事業名		内 容
事業計画	家計改善支援事業 (市委託事業)	○債権整理や家計に関する相談助言・支援 ○貸付のあっせん など
事業実績	■プラン作成件数：5 件 ■プラン評価件数：1 件 ■相談支援回数（終結・未プラン者含む）：296 回 ※プラン作成に至っていないケースについても、弁護士（債務整理）や生活保護相談等へのつながりも行った。また、プラン終結者へのフォローとしての対応も行った。	
事業名		内 容
事業計画	子どもの学習・生活支援事業 (市委託事業)	○学習の機会が十分でなかったり、基本的な生活習慣が整いにくい世帯の子どもに対して、学習・生活支援を行うため、支援プランを作成するとともに、支援の提供場所や支援団体等を調整する。 ○市内各拠点を活用した学習・生活支援 【事業名】 ＊ほたる一む
事業実績	○支援検討会議の開催：3 ケースについて検討 ○子どもの居場所・学習の場の提供：87 回（延べ利用者数：183 名） ○「だれでもほたる一む」の開催 実利用者数：24 名（延べ利用者数：48 名） ※夏休み期間中に米原小・中学校区にて、冬休みに坂田小・息長小・双葉中学校区にてモデル実施（全 7 回）。気になる子どもと早期につながるきっかけの場となった。	
事業名		内 容
事業計画	要援護世帯等向け 歳末配分事業	○歳末たすけあい運動における個別配分事業 対象者：ひとり暮らし高齢者世帯、障がい者手帳所持世帯、ひとり親世帯等、低所得者世帯、要就学援助世帯
事業実績	○個別配分事業：736 件 ※1 世帯あたり 4,000 円の配分を実施した。 ○食糧支援事業：230 件 ※各種相談支援窓口や民生委員児童委員の協力を得て事業の周知を行い、食料の仕分けから当日の配布までは、ボランティアだけでなく就労準備支援事業、参加支援事業の利用者も参加、新たな社会参加の場ともなった。	
事業名		内 容
事業計画	生活困窮者 物資提供事業 (フードバンク)	○制度やサービスを利用するまでの期間や、制度やサービスでは対応できないなどの理由で、生活に困窮している人を対象に、地域で不要になったものを集めるとともに、歳末たすけあい募金・善意銀行を活用し必要な物資を確保し提供する。 ○ボランティアや市民活動と協働して、物資回収、仕分け、配布活動を展開する。【地域づくり】

		○配布時にアンケート等を通じた聞き取りや相談窓口の情報提供を行い、関係機関と情報を共有する【アウトリーチ】
事業実績	○善意銀行からの物資調達額：4,759 円 ○個別支援回数 68 回（個人 28 世帯、団体 3 団体） ○第 1 回食料支援事業の実施 8/1～8/5（利用者数：120 件） 食料支援継続希望者に食料支援を行った。 ○第 2 回食料支援事業の実施 12/22～12/27（利用者数：85 件） 食料支援事業の継続希望者に食料支援を行った。 ○第 3 回食料支援事業の実施 3/14～3/17（利用者数：145 件） 食料支援事業の継続希望者に加えて、今まで利用がなかった方で必要とする方も含めて、食料支援を行った。 ※生活に困窮している継続利用の希望者へ継続して食料支援を行うとともに、支援機関が対象者の方への訪問ツールとして活用した。 ※配布する食料の仕分け作業にはボランティアに加えて、就労準備支援事業、参加支援事業の利用者も参加。新たな社会参加の場、職員以外と関わる機会としても活用した。	

（８）生活福祉資金貸付制度・一時援護資金貸付事業

目標	低所得者や高齢者・障がいのある人等に対し、継続的な相談援助と資金の貸し付けやその他の制度の活用等を通じて、生活の維持・安定、経済的自立に向けた支援を行います。	
	事業名	内 容
事業計画	生活福祉資金貸付制度 (県社協委託・補助)	○民生委員等との連携による相談援助と資金貸付 総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金の貸付 ○生活困窮者自立支援事業との連携
事業実績	《通常貸付》 ■相談件数：19 件 ■申請件数：4 件（教育支援資金 3 件、福祉費 1 件） 《コロナ特例貸付》 ■相談件数：46 件 ■申請件数：28 件（緊急小口資金 13 件、総合支援資金 15 件） ■償還免除件数：179 件（実人数 104 名） ■償還猶予件数：6 件（実人数 3 名） ※償還手続きが開始となったことから、問合せや手続き支援、償還猶予に関する相談にも対応した。	
	事業名	内 容
事業計画	一時援護資金貸付事業	○民生委員等との連携による相談援助と資金貸付 ○生活困窮者自立支援事業との連携

事業実績	■申請件数：34 件 ※生活保護受給の方への貸付が半数を超えている。また、コロナ貸付終了後の対応として利用されたケースも出てきた。
------	---

(9) その他の生活支援

目標	既存の制度やサービスでは支えきれない生活ニーズに対し、新たなサービスを企画・実施し、支援を必要とする人の生きがいを高め、日常の生活を支援します。	
	事業名	内 容
事業計画	福祉車両貸出	○本会が所有するリフト付き車両を、生活支援活動団体や車いすを必要とする人の親族等に貸出し、医療機関等への送迎における自助・互助の促進を図る。
事業実績	○利用件数：154 件 ※通院、施設の入退所、ワクチン接種支援、余暇活動など	
	事業名	内 容
事業計画	緊急時預かりサービス	○緊急の事由により見守りや介護等ができない状態が生じた場合の預かりを実施し、暮らしの安心を確保する(24 時間/365 日対応) ・地域なじみの安心事業 ・緊急預かりサービス
事業実績	○利用件数：3 件 内訳：地域なじみの安心事業（ゆめホール：1 件、はびろ：1 件） 緊急時預かりサービス（ゆめホール：1 件）	
	事業名	内 容
事業計画	ふれあいよりそいサービス	○既存の制度やサービスで対応できない生活上のニーズに対し、制度外サービスを提供する。(居宅内の生活支援、通院等外出時の支援、服薬確認や安否確認のための見守り訪問 など)
事業実績	○利用件数：72 件 ○新規利用者数：1 人 ※通院介助、介護保険で対応できない短時間サービス、同居家族のいる方への生活支援などを実施	
	事業名	内 容
事業計画	車いす貸出事業	○介護保険等の制度による対応が困難な場合に、福祉機器（車椅子）の貸出を行う。

事業実績	○貸出件数：28 件 内訳：山東地域福祉活動センター（2 件） 伊吹地域福祉活動センター（1 件） 米原地域福祉活動センター（21 件） 近江地域福祉活動センター（4 件）
------	--

2. 身近な地域で支え合います

（1）ご近助活動（自治会単位）の推進

目標	地域住民が地域の困りごとに気づき、支援を必要とする人への居場所づくり活動や生活支援の取り組みを推進します。 ○自治会ごとに担当職員を配置し、自治会における推進組織やご近助活動におけるリーダーの役割を整理し提案します。 ○市民が主体的に見守り・支え合い活動を進める上での機運を高めるとともに、組織化や活動を支援します。 ○コロナ禍をはじめとした、支援ニーズに応じたつながりの再構築に向けた参加支援とアウトリーチを実施します。	
	事業名	内 容
事業計画	ご近助活動の支援 【地域づくり】	○自治会長・民生委員・福祉委員等合同説明会の開催 ○ご近助活動スキルアップ講座の開催 ○ふれあいいきいきサロンの推進・活動支援※【参加支援】 ○子ども食堂または学習支援活動の推進・活動支援※ ○福祉懇談会の開催支援※ ○見守り活動の推進 ・見守りネットワーク会議の運営支援※ ・見守り訪問活動の推進・活動支援※ ・見守りネットワーク会議等からの要支援者の把握、関係機関へのつなぎ【アウトリーチ】 ○避難行動要支援者参加型避難訓練の推進・活動支援※ ○男性のためのいきいき料理の実施【参加支援】 ○防火訪問の実施 ○防災力向上のための取り組み ○補助金の交付による活動支援（上記※は、補助金交付対象活動他に、基本補助、お出かけバスの運行補助、新規事業の実施補助、居場所継続支援補助あり） ○福祉マップの作成・更新支援 ○避難行動要支援者登録の推進 ○備品・車両の貸し出し ○活動への相談支援と情報提供
事業実績	○合同説明会の開催 ・山東地域（4/28） 参加者数：66 人 ・伊吹地域（4/25） 参加者数：53 人 ・米原地域（4/27） 参加者数：53 人 ・近江地域（4/26） 参加者数：61 人	

○ご近所活動スキルアップ講座の開催

- ・「『コロナ禍での活動』～つながり続けるために～」(6/4) 参加者数：21人
- ・「『災害時避難支援体制づくりのススメ』～災害時に助かる命を増やすために～」(6/18) 参加者数：26人

○ふれあいいきいきサロンの推進

- ・山東地域 17自治会 延べ168回
- ・伊吹地域 10自治会 延べ97回
- ・米原地域 11自治会 延べ81回
- ・近江地域 12自治会 延べ77回

○子ども食堂・学習支援活動の推進

- ・米原地域 2自治会 延べ27回

○子ども食堂の活動支援

- ・子ども食堂交流会(長浜市社協との合同開催 8/5) 参加者数：11人

○福祉懇談会の開催支援

- ・山東地域 20自治会(延べ22回/延べ187人)
- ・伊吹地域 5自治会(延べ6回/延べ38人)
- ・米原地域 15自治会(15回/206人)
- ・近江地域 12自治会(12回/139人)

○見守りネットワーク会議の運営支援

- ・山東地域 21自治会 延べ100回
(CSW30回出席 専門職・地域包括支援センターの出席14回)
- ・伊吹地域 9自治会 延べ14回
(CSW14回出席 専門職・地域包括支援センターの出席11回)
- ・米原地域 13自治会 延べ81回
(CSW29回出席 専門職・地域包括支援センターの出席33回)
- ・近江地域 8自治会 延べ53回
(CSW24回出席 専門職・地域包括支援センターの出席12回)

○見守り訪問活動の推進(実施月数による集計)

- ・山東地域 12自治会 延べ82か月
- ・伊吹地域 5自治会 延べ21か月
- ・米原地域 9自治会 延べ72か月
- ・近江地域 8自治会 延べ31か月

○避難行動要支援者参加型避難訓練の推進・活動支援

- ・山東地域 3自治会
- ・伊吹地域 4自治会
- ・米原地域 5自治会
- ・近江地域 3自治会

○男性のためのいきいき料理教室の実施 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○市民のための見守り訪問に役立つ研修会(防火訪問) 参加者数：11人

○補助金の交付

- ・山東地域 25自治会(補助額：839,500円)
- ・伊吹地域 12自治会(補助額：309,000円)
- ・米原地域 22自治会(補助額：693,500円)
- ・近江地域 15自治会(補助額：405,500円)

○福祉マップの作成・更新支援

	・米原地域 3件 ・近江地域 1件
	○避難行動要支援者登録の推進
	・山東地域 6件 ・伊吹地域 2件 ・米原地域 4件 ・近江地域 2件
	○備品貸し出し
	・山東地域 21件 ・伊吹地域 23件 ・米原地域 60件 ・近江地域 63件
	○車両貸し出し
	・はびろ 7件 ・きたで～ 13件
	○活動への相談支援と情報提供
	・ふくし募金（一円玉を大切にする運動） ※近江地域 10 自治会

（２）福祉活動団体の活動推進

目 標	福祉活動団体が主体的に活動を進めることができるよう、情報交換や連携連絡の場を設けるとともに、様々な活動の場面で協働して地域福祉活動に取り組めるよう支援します。	
	事業名	内 容
事業計画	福祉活動団体への活動支援	○懇談会の開催（情報意見交換、協働した取り組みの検討など） ○団体活動についての相談支援 ○補助金の交付による活動支援 ・新規事業補助 ・子ども食堂、学習支援補助 ・居場所継続支援補助 など ○単位民児協事務局の運営と委員活動の支援 ・定例会の開催 ・委員研修の企画と実施 ・委員活動に対する支援（個別ケースへの対応、情報提供など） ・関係機関との連絡調整
事業実績	○当事者団体・福祉団体長懇談会の開催（5/26） ※福祉活動団体4団体参加 ○米原市老人クラブ連合会への活動支援 ・近江老人クラブ連合会理事会 7回出席 ・伊吹老人クラブ連合会理事会 1回出席 ・米原市老人クラブ連合会・赤十字奉仕団懇談会の開催 1回 ○赤十字奉仕団への活動支援 ・赤十字奉仕団米原市地区委員会 13回出席 ・米原地区委員長副委員長研修会 1回出席 ・米原地区長との懇談会 1回出席 ・近江地域赤十字奉仕団班長会 4回出席 ・近江地域赤十字奉仕団委員長副委員長会議 1回出席 ・山東地域赤十字奉仕団班長会 1回出席 ・赤十字奉仕団出前講座の調整 3件（自治会：1、学校：1、イベント：1） ○補助金の交付による活動支援 《福祉活動団体等活動推進補助金》	

	・福祉活動団体 5 団体（補助額：535,000 円） ・ボランティアグループ 11 団体（補助額：169,300 円） ・新規事業補助 1 団体（補助額：150,000 円） 《まいばらコラボチャレンジ事業》 ・1 事業（補助額：411,000 円） ○単位民児協事務局の運営と委員活動の支援 【山東民児協】 定例会議：12 回開催、企画運営部会：12 回開催、広報委員会：7 回開催 【伊吹民児協】 定例会議：12 回開催、企画運営委員会：12 回開催、正副会長会：13 回開催 【米原民児協】 定例会議：12 回開催、企画調整部会：13 回開催、広報委員会：6 回開催 【近江民児協】 定例会議：12 回開催、運営委員会：12 回開催、広報委員会：5 回開催
--	--

（３）当事者団体の活動推進

目 標	地域や行政等とのつながりや地域活動への参画を支援し、当事者に対する理解を深めるとともに、新たな支え合い活動や福祉サービスの開発につなげます。	
	事業名	内 容
事業計画	当事者団体への活動支援	○懇談会の開催（情報意見交換、ニーズ把握、福祉学習への参加・福祉避難所の運営の検討 など） ○団体活動についての相談支援 ○補助金の交付による活動支援 ・新規事業補助 など ○当事者活動参加者への相談対応・相談窓口等の情報提供 【アウトリーチ】
事業実績	○当事者団体・福祉団体長懇談会の開催（5/26） 5 団体参加 ○スペシャルオリンピック練習支援：9 回 ○補助金の交付による活動支援 《福祉活動団体等活動推進補助金》 2 団体（補助額：150,000 円）	

（４）地域福祉活動拠点の活用

目 標	周辺地域や関係機関との連携・協働を図りながら、市民の福祉拠点となる施設を運営します。地域福祉活動の拠点として小地域福祉活動やボランティア活動の支援、相談支援を行うとともに、介護保険サービスや介護予防事業、障がい福祉サービスの提供を通じ、市民の福祉ニーズに応える施設運営を行います。	
	事業名	内 容
事業計画	福祉活動拠点の管理・運営	○福祉施設の管理・運営 ・あったかほーむかせの ・寄ろ家うかの ・いをぎの家 ・ほおずき作業所 ・行こ家のとせ ・いきいき健康館

		・米原市指定管理施設（柏原福祉交流センター、北部デイサービスセンター、伊吹地域福祉センター、米原地域福祉センター、近江地域福祉センター） ○運営推進会議の開催 ○地域交流事業の実施 ・地域福祉センター 学習支援事業の実施【アウトリーチ】 ・各デイサービスセンター等 市民交流事業、季節の祭り、保育所や小中学校との交流、カフェ、子育て支援事業の実施 ○近隣自治会等の活動への参加・協力
事業実績		○福祉施設の管理・運営 ○運営推進会議の開催 ・伊吹地域福祉センター（8/10、3/28） ・米原地域福祉センター（7/27、2/17） ・近江地域福祉センター（6/30、3/22） ・柏原福祉交流センター（8/26、3/28） ・あったかほーむかせの（7/15） ・北部デイサービスセンター（8/5、3/24） ・行こ家のとせ（7/22、3/25） ・寄ろ家うかの（7/8、3/3） ・いをぎの家（5/17、7/19、9/20、11/15、1/17、3/14） ・ほおずき作業所（7/26、3/10） ○地域交流事業の実施 ・学習支援事業 「てんてんウィーク」（12/24、12/25） 冬休み中の学習の場の提供・お楽しみイベント 参加者数：延べ 22 人 「やすらぎウィーク」（8/3、8/8、8/10） 夏休み中の学習の場の提供・お楽しみイベント 参加者数：延べ 35 人 ・子育て支援事業 「愛らんど DAY・ボッチャ体験」（3/28） 春休み期間の子どもの居場所づくり、福祉啓発イベント 参加者数：30 人

（５）善意銀行

目標	地域の市民や企業団体から寄せられる善意を、市内で地域福祉推進に取り組む自治会や関係団体の活動を支えるための資金や、市民の暮らしの困りごとを支える財源として有効活用します。	
	事業名	内 容
事業計画	善意銀行の運営	○善意銀行の募集啓発および情報提供 ○寄付者の意向に基づく効果的な活用（生活困窮者支援物資提供事業、備品・福祉機器貸出事業、市内福祉事業所等へ寄付物品の提供 など）

事業実績	○金銭預託：20 件（1,510,863 円） ○物品預託：109 件 ○福祉事業所等への物品配布：延べ 92 回、121 件 ○善意銀行の活用に関する検討（10/4、2/16）
------	--

（6）赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

目標	地域福祉の課題解決に取り組む民間団体等への支援のほか、地域における助成事業を通じて共同募金運動の活性化を図ります。	
	事業名	内 容
事業計画	共同募金委員会の運営	○募金活動の強化 ・募金の取り扱いに関する各自治会の状況把握 ・受配団体等と協働した募金活動の実施 ・社会貢献活動の啓発 ○募金の配分 ・透明性の確保と啓発の強化 ・様々な地域福祉活動への幅広い配分
事業実績	○共同募金委員会の開催 理事会（年 2 回） ・第 1 回理事会（6/3） 令和 3 年度事業・決算報告 ・第 2 回理事会（3/24） 令和 5 年度事業計画・予算 評議員会（年 2 回） ・第 1 回評議員会（6/20） 令和 3 年度事業・決算報告 ・第 2 回評議員会（3/28） 令和 5 年度事業計画・予算 ○募金活動の実施 ・自治会、団体、企業、学校、事業所等への募金協力依頼 ・共同募金協力自販機の設置啓発 ・二次元コード（インターネット寄付システム）の活用 ・書き損じハガキ等の回収呼び掛け	

（7）ファミリー・サポート・センター

目標	子育てにおける相互援助活動を支援し、市民が安心して仕事と育児を両立できるまちをめざします。	
	事業名	内 容
事業計画	ファミリー・サポート・センター事業（市委託事業）	○サポート会員と利用会員とによる相互援助活動（子どもの預かりおよび送迎 など）の推進 ・事業活動の広報、啓発 ・会員相互の援助活動の相談、調整、助言

	・会員の募集、登録および管理 ・サポート会員に対する研修の実施 ・安全対策の確保（マニュアル等の活用） ・子育て支援機関等との連絡調整 ・子育て支援団体等との協働による事業周知、登録の促進、交流イベントの実施 ○障がい児者支援サポーター講座の開催（サポーター養成講座にて開催）【地域づくり】 ○利用会員等への相談窓口等情報提供【アウトリーチ】
事業実績	■登録者数：利用会員 98 人（内新規 15 人）、サポート会員 80 人（内新規 5 人） 両方会員 14 人（内利用会員から両方会員への移行が 2 人） ■利用実績：146 件（上半期：92 件・下半期：54 件） ■新規マッチング件数：7 件（上半期：4 件・下半期 3 件） ○サポーター養成講座の開催 ・「子どもの世話」（6/4） 参加者数：26 人（大人：15 人・子ども：11 人） ・「子どもの栄養と食生活」「障がいのある子の預かりについて」（7/6） 参加者数：10 人（大人 10 人） ・「小児看護の基礎知識」「身体の発達と病気」（8/3） 参加者数：7 人（大人 7 人） ・「保育のこころ」（10/8） 参加者数：24 人（大人：13 人・子ども：11 人） ・「事故による子どもの傷害」（12/8） 参加者数：16 人（大人：11 人・子ども：5 人） ・「子どもの遊び」（1/28） 参加者数：29 人（大人：14 人・子ども 15 人） ○救急救命講習の開催 ・「小児救急救命講習」（7/14） 参加者数：3 人 ・「救急救命講習」（11/7） 参加者数：4 人 ・「救急救命講習」（11/18） 参加者数：1 人 ○交流会の開催 ・「田植え&どろんこ遊び」（6/4） 参加者数：32 人（大人：16 人・子ども：16 人） ・「稲刈り体験」（10/8） 参加者数：26 人（大人：14 人・子ども：12 人） ・「ミニ門松作り」（12/8） 参加者数：16 人（大人：11 人・子ども 5 人） ・「伝承遊び体験」（1/28） 参加者数：29 人（大人：14 人・子ども：15 人） ・「ミシンカフェ・ボランティア演奏会（9月の交流会が中止になり振替実施）」（2/25） 参加者数：29 人（大人：16 人・子ども：13 人） ○ファミサポアドバイザー講習 ・「ファミリーサポートセンター事業における提供会員の確保方策および配慮の必要な家庭への現状と課題」（10/14） 参加者数：2 人 ・「子育て応援講演会」（10/18） 参加者数：2 人 ○ファミサポ水遊び大会（9/3） ※コロナウィルス感染拡大に伴い中止 ○LINE の活用 ・会員への連絡手段としてLINE を活用し、養成講座、救急救命講習、交流会の案内を行った（登録者：94 人）

	○啓発活動 ・「米原市つなぐ未来展」への出展 ・リーフレットの配布（子育てサークルづくり「こもち〜ズ広場」参加者および遊びの広場来場者向け） ・広報まいばら（5月、6月、7月、8月、9月、11月、12月、1月号くらしのガイド）にて、養成講座・交流会の案内を掲載 ・子育てサークルづくり「こもち〜ズ広場」にて、ファミサポの周知活動を実施 ・「つくる未来展」に出展し、ファミサポの啓発活動を実施 ・近隣の大学4校、短期大学1校、専門学校1校を訪問し、学生への周知とリーフレットを設置 ・今年度より新設された保育施設、学童に広報誌とリーフレットを設置 ・地域共生社会フォーラムにて、ファミサポの周知案内ブースを設置 ・市内スーパーにてファミサポのチラシ、リーフレットを掲示 ・11月の定例民協にて、退任される民生委員児童委員に会員登録を依頼（4地域） ○会員登録継続の確認（3月末）
--	---

（8）災害支援体制の構築

目 標	災害時の支援活動について協議する場を設定し、それぞれが果たす役割の整理や情報の共有を行います。 また、関係機関、福祉事業者等と協働し、地域防災計画に基づく個別避難支援計画の作成に向けた地域の取り組みを支援します。 さらに、各事業所が、災害時の利用者の安否やサービス連携について確認し、被災状況に応じたサービスを速やかに提供できる体制を整備します。	
	事業名	内 容
事業計画	災害時支援の連携構築 【地域づくり】	○福祉事業者との災害対策に関する協議 ・地域と事業者との連携および支援調整 ・利用者の安否確認やサービス連携 ・被災状況に応じたサービスの提供方法、サービス再開 ○サービス事業所ごとの非常災害対策の整備 ・業務継続計画の点検 ・研修、訓練（シミュレーション）の実施 ○地域における個別避難支援計画の作成支援
事業実績	【山東地域】 ・支援体制づくりの支援：5自治会 ・避難行動要支援者名簿整備の支援：4自治会 ・支援体制の見直し・更新の支援：3自治会 【伊吹地域】 ・支援体制づくりの支援：5自治会 ・避難行動要支援者名簿整備の支援：3自治会 ・支援体制の見直し・更新の支援：3自治会	

	【米原地域】 ・支援体制づくりの支援：6自治会 ・避難行動要支援者名簿整備の支援：5自治会 ・支援体制の見直し・更新の支援：4自治会 【近江地域】 ・支援体制づくりの支援：2自治会 ・避難行動要支援者名簿整備の支援：1自治会 ・支援体制の見直し・更新の支援：4自治会
--	---

(9) 災害ボランティアセンターの設置運営

目 標	被災者が抱える問題と活動ニーズとが的確に調整され、災害時に必要となる新たなボランティア活動の創設や地域との連携など、円滑な運営のための人材の養成と体制の整備を行います。	
	事業名	内 容
事業計画	災害ボランティアセンターの設置運営	○マニュアルの見直し・点検、市民、関係機関、事業所等が参加する設置・運営訓練の実施（課題の集約と検証） ○運営サポーターの募集（出前講座、地域共生社会フォーラムにおいて） ○運営サポーターミーティングの開催（地域啓発、サポーター研修、訓練 など） ○災害ボランティアバスの運行
事業実績	○マニュアルの点検・更新：内部検討3回 ○災害ボランティアセンター運営サポーターミーティングの開催（3/16） 参加者数：8人 ○災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施（10/16） 参加者数：13人（職員12人、サポーター1人） ○災害ボランティアセンターサポーター登録者数：31人	

IV. 助け合い、支え合う人を育む

1. 地域の担い手を育みます

(1) ボランティアセンター

目 標	支援を必要とする人や地域、サービス事業所などからの声をもとに、ボランティアによる支援ニーズを把握し、必要な事業の企画とボランティアの養成を行うなど、ボランティア活動の推進と活動に関する調整を行います。	
	事業名	内 容
事業計画	情報提供 ・ 活動調整 【参加支援】	○ボランティア活動者の支援（ボランティア活動者からの相談に対する情報提供や助言の実施） ○ボランティア活動に関する情報提供（ホームページ、SNSを活用したタイムリーな情報発信） ○ボランティア活動のマッチング（活動者と個人、施設間の調整） ○市ボランティア連絡協議会の運営支援 ○レイカディア大学、ルッチ大学との連携 ○ボランティアコーディネーターと各地域担当ワーカー、窓口担当職員との連携
事業実績	○相談件数：1,076 件 ・芸能ボランティア活動マッチング件数：31 件 ・ボランティア活動者からの相談：18 件 ・個人からの相談：23 件 ・施設・団体からの相談：21 件 ○SNS（ブログ・フェイスブック）による情報発信：12 件 ○社協広報「てとて」へのボランティア情報の掲載：4 回 ○市ボランティア連絡協議会の運営支援 会議への参加：7 回 ボラカフェへの参加：2 回 ○愛の手ボランティアへの支援 ・意見交換会の開催：1 回（延べ6人参加） ・訪問活動調整：3 回 15 地域（訪問者：14 人 対象者：延べ 202 人） ○買い物支援ボランティア ・新型コロナウイルス感染や濃厚接触を理由とする自宅待機者からの相談対応 相談：16 件 ※内 7 件が利用、長浜市民からの問い合わせ 4 件あり。 ・買い物支援利用件数：7 件 ・買い物支援対応ボランティア人数：4 人（延べ 7 人） ・買い物支援ボランティア登録者：34 人 ・買い物支援公式LINEへの登録：54 人 ○障がい児者支援活動サポーター養成講座の開催 ・教育機関への周知：高校（4 校）、大学・短大・専門学校（6 校） ※7 人の生徒がボランティア活動についての説明を希望、内 6 人が活動 ・養成講座（7/6） 参加者数：10 人 ・施設見学（7/11・14・15） 参加者数：8 人 ・ボランティア活動調整：57 件	

	※8人のボランティアが3カ所での活動を希望したが、施設側の受入れが1件中 止になったため実活動は50件	
	事業名	内 容
事業計画	傾聴ボランティアの 養成・活動支援 【地域づくり】	○養成講座の開催（傾聴ボランティアの新規育成） ・傾聴についての基礎知識の習得、ロールプレイ ・傾聴の対象者となる高齢者や障がい者に接する上で必要な知識の習得 ・施設等における体験学習 ・活動者向けフォローアップ講座の実施 ○傾聴ボランティア活動の支援 ・自主的な活動に向けた助言、相談企画、専門職との連携 ・定例会の運営支援
事業実績	○傾聴ボランティアグループの活動支援 ・定例会の開催支援：12回（月1回） ・訪問先マッチング数：60カ所 ※延べ123人のボランティアが活動 ・新規利用者：2件 ※ボランティアによる事前訪問の際の同行 ・守山市社協との交流会の開催（3/30） 参加者数：14人 ○傾聴ボランティア養成講座：5回（11/10、17、12/1、12/2～12/14 12/15） ※12/2～12/14は、ボランティア体験（7人の現役ボランティアが協力）。新規受 講生9人（内3人が「よろこび愛」に加入）	
	事業名	内 容
事業計画	音訳事業 （市委託事業）	○音訳ボランティア養成講座の開催（音訳活動の見学） ○音の広報発行事業 ・市広報や議会だより、社協広報等の録音と発行 ・活動者への支援
事業実績	○音訳ボランティア養成講座（視察研修）の開催（6/29） 参加者数：4人 ○音訳ボランティア養成講座（読み方勉強編）の開催（7/5、7/12、7/19 7/26、8/2、8/9） 参加者数：8人（新規：3人、令和3年度パソコン編集編参加者：1名、令和3年 度視察研修参加者：1名、現役ボランティア：3人） ※講座受講後、3人が音訳ボランティアグループの活動を見学、3人が音訳ボラン ティアとして活動を開始 ○音の広報発行事業（市広報や議会だより、社協広報の録音と発行） ・広報まいばら：12回（4月～3月） ・議会だより：4回（4月、7月、10月、1月） ・社協広報てとて：4回（6月、9月、11月、2月） ・音訳CD利用者：2人、一般オーディオ用CD利用者：1人、音訳CDの貸し出 し：3カ所（近江図書館、山東図書館、伊吹薬草の里文化センター図書館）、米原 市、社協HPへの音声データの掲載	

	○活動者への支援 ・音訳ボランティア交流会・勉強会の開催（6/28） 参加者数：3グループ（9人） ・音訳ボランティア養成講座に関する説明会の開催（8/1） 参加者数：3グループ（6人） ・音訳ボランティア交流会・勉強会の開催（3/14） 参加者数：3グループ（10人）	
事業名		内 容
事業計画	認知症サポーターの養成 （市委託事業） 【地域づくり】	○認知症サポーター養成講座の開催 ・学校（児童、生徒）、企業への働きかけ ○キャラバンメイトの活動支援 ・講座への支援 ・キャラバンメイトや専門職、認知症啓発に関心がある住民の実施する出張型認知症カフェへの支援
事業実績	○報告会の開催：12回 ○認知症サポーター養成講座の開催：7回 参加者数：192人（内、学校3校127人） ○養成講座受講者に対するアンケートの実施 ○出前講座の開催：3回 参加者数：65人 ○オンラインツールの活用 ・キャラバンメイト公式LINEアカウントの活用 ○認知症啓発事業 ・アルツハイマー月間（9月） 広報まいばらへの協力 ・金融機関、学校、小売店、コンビニ等市内事業所へ養成講座実施依頼：71件	

2. 福祉人財を育みます

（1）福祉介護人材の育成

目標	地域の支え合いや生活支援サービスの担い手の育成をめざすとともに、質の高い介護人材が、市内の事業所に安定的に確保されるよう、社会福祉法人や介護事業所等と協働して、福祉・介護人材の育成に取り組めます。	
事業名		内 容
事業計画	福祉現場での実習受け入れ	○福祉専門職養成のための実習受け入れ ・市内各福祉現場での実習
事業実績	○介護福祉士実習：びわこ学院大学 4人（はびろ、ゆめホール、あおば） 就業に向けた実習：長浜養護学校 1人（はびろ）	

事業名		内 容
事業計画	入門的研修 (市委託事業) 【地域づくり】	○介護に関する入門的研修の開催
事業実績	○スゴワザ講座『介護に関する入門的研修 ～今すぐ！将来！きっと役立つ！介護のい・ろ・は塾～』の開催（7/2、7/9、7/16、7/21） 参加者数：17 人（内、外国語を主に使用する住民 11 名）	

V. みんながつながるまちをつくる

1. つながる仕組みを強化します

(1) 地域ニーズ・社会資源の把握と情報提供

目 標	ご近所活動やボランティア活動の支援、相談事業や福祉サービス等を実施する中で、地域の課題や暮らしの困りごと、自治会を超えての参加が可能な居場所をはじめとした社会資源の把握を行います。また、関係機関や自治会長・民生委員児童委員・福祉協力員等からも情報を得て、地域カルテ・社会資源台帳に反映し、社会資源の見える化を図ります。 これらの情報を整理した地域カルテ・社会資源台帳を、自治会や関係機関等と共有し、地域福祉活動の推進や個別支援を行う際に活用します。	
	事業名	内 容
事業計画	地域カルテ・社会資源台帳の作成と活用 【多機関協働】 【地域づくり】 【参加支援】	○住民参加の協議や情報交換の場、地域行事への参加、各種会議等における地域ニーズ、社会資源の把握 ○自治会長・民生委員児童委員・福祉協力員等からの情報収集 ○関係機関、事業者等からの情報収集 ○個別課題や個別ニーズを地域課題・地域ニーズとして共通認識しみんなで考える場の形成 ○情報の集約と地域カルテ・社会資源台帳の整理（CSW、相談支援包括化推進員、各事業所の連携・共同による作成） ○地域カルテの提供（自治会長等の各福祉活動者、関係機関、事業者 など）
事業実績		○福祉懇談会、見守りネットワーク会議、居場所への訪問、関係機関へ聞き取り等での地域ニーズ、社会資源の把握（適宜） ○カルテの整理（適宜） ○合同説明会でのカルテの配布 自治会版・広域版カルテの配布：108 自治会 ○市内居宅介護支援事業所、市役所、地域包括支援センター、長浜保健所、病院、社協内などへ関係機関用地域カルテの提供：60 カ所

(2) 地域支え合いセンター・生活支援サービス基盤整備事業

目 標	自治会の範囲を超えて地域課題を共有し、解決に向けての協議の場をつくります。 また、地域やサービス事業者などが協働し、生活支援サービスの充実や認知症高齢者の見守り活動、地域から孤立をなくすための取り組みを推進します。	
	事業名	内 容
事業計画	地域支え合いセンター事業（市委託事業） ・生活支援サービス基盤整備事業	○協議体の運営 ・ボランティア活動者や市民、各種関係機関、事業者等のネットワークづくり、地域や生活上の課題について協議する第一層協議体の運営 ・解決が求められる暮らしの中の課題について、情報の把握・共有、既存の社会資源の活用のほか、新たな仕組みや社会資

	(市委託事業) 【地域づくり】 【参加支援】	源の創出を行う場の運営 ○支援ニーズの集約と活動・サービス等に関する情報の発信（情報収集・発信） ・地域カルテの整備 ・ウェブサイトの整備と運用、内容の充実 ○生活支援活動などに取り組む団体等の活動支援 ・相談支援、活動調整 ・研修会、情報交換会の開催 ○多様な居場所や生活支援等、地域のニーズに合わせた広域の社会資源の開発【多機関協働】 ○社会資源の創出・運営等を目的とした、財源確保のための取り組みの推進 ○フードロス削減をテーマとした支え合い活動の啓発と活動の実施
事業実績	○協議体の運営 【1層協議体】 ・「防災 ～災害時個別支援に関する自治会・専門職意見交換会～」の開催 (9/7) 参加者数：27人 ・ボランティアポイント アンケートによる意見の集約と分析 アンケート実施数：57人（学生、子育て世代、就業者） 【2層協議体】 ・山東 17回（延べ17回） 298人参加 ・伊吹 25回（延べ32回） 244人参加 ・米原 17回（延べ33回） 217人参加 ・近江 73回（延べ73回） 511人参加 ○支援ニーズの集約と活動・サービス等に関する情報の発信（情報収集、発信） ・地域カルテの整備：各自治会カルテ（108自治会）および広域版の整備 ・ウェブサイトの整備と運用：更新回数（6回） ○生活支援活動などに取り組む団体等の活動支援 ・相談支援、活動調整 【山東】457件 【伊吹】588件 【米原】654件 【近江】428件 【1層】443件 ○研修会、情報交換会の開催 ・スゴワザ講座 第1回「介護に関する入門的研修」（7/2、7/9、7/16、7/23） 参加者数：17人（内外国語を主に使用する住民11人） 第2回「移送支援活動のための車両運転講習」（10/13） 参加者数：12人 第3回「市民のための見守り訪問に役立つ研修会」（防火訪問）参加者数：11人 第4回「買い物をもっと便利に！お得に！～ネットショッピングを活用しよう！～」 ※出前型講座として開催 岩ヶ谷サロン（3/17） 参加者数：5人	

	杉澤自治会（3/18） 参加者数：6人 ・居場所づくり活動団体情報交換会 第1回（8/1） 参加者数：26人 第2回（2/27） 参加者数：35人 ○フードバンク活動団体への支援 ・フードバンクまいばら、米原市との意見交換会の開催（6/22） ・米原高校の生徒によるフードバンク活動支援：3回 ・その他企業からのフードバンクに関する問い合わせ：2社
--	--

（3）多機関協働事業・アウトリーチ等事業

目 標	単独の相談機関では対応しづらい複合的な課題に対して、多機関多分野の相談機関が連携強化できる相談支援体制、包括化ネットワークの構築および新たな社会資源の創出をめざします。 複合化・複雑化した課題を抱えながらも支援が届いていない人に対し、働きかけを行い、信頼関係の構築し、必要な支援につなげます。	
	事業名	内 容
事業計画	多機関協働事業・アウトリーチ等事業（市委託事業）	○重層的支援体制整備事業推進会議の開催 ・代表者会議、担当者連絡会議、コアメンバー会議、事務局会議 ・複合的な課題を抱えるケースへの相談支援（事前打合せ会議および包括化ケース会議） ○研修会の開催、事例検討会の開催 ○社会資源の開発（個別課題や個別ニーズを地域課題として認識できるよう、グループワークや研修会等みんなで考える場を通して検討、提案） ○関係機関や地域活動、当事者活動等、各事業活動（地域見守りネットワーク事業・フードバンク活動・相談機関への働きかけなど）を通じて情報を収集し、支援を必要とする方を把握し、必要な支援につなぐ働きかけを行います。
事業実績	○重層的支援体制整備事業推進会議の開催 ・代表者会議（5/25、3/16） ・担当者連絡会議（6/9、8/10、11/10、2/9） ・テーマ別分科会 ひきこもり（10/21） 身寄りのない人等の生活支援・死後事務（10/28、3/24） ・コアメンバー会議（5/18、6/28、7/29、9/29、12/16、1/30、3/7） ・事務局会議（4/26、6/1、7/15、9/6、11/12）※コアメンバー会議前開催 ・ケースの事前打合せ会議：20件、8回開催 ・包括化ケース会議（重層的支援会議） 対象ケース数：7件、延べ21回 ・包括化ケース会議（支援会議） 対象ケース数：23件、延べ37回 ○研修会 ・事例検討会（8/23）出席者数：21人、（1/24）出席者数：33人 ・やれることをみんなで持ち寄るワークショップ（12/21）出席者数：29人	

	○アウトリーチ等継続的支援 ・個別ケースへのアウトリーチ 本人または家族の同意あり（3件）、同意なし（6件） ・支援ニーズを抱える潜在的な相談者の把握で聞き取り実施 関係機関 14 か所（61 件）、民生委員児童委員 88 人に電話・面談（45 件） ○社協内重層的支援体制整備事業の取組み ・部署横断的事例検討会の開催：4回（6/24、9/14、12/14、3/10） ・ほたる、ビジットケア、ほおずき作業所合同事例検討会（11/25） ・業務効率化と職場改善に向けたプロジェクト会議：5回（6/7、7/11、8/12、9/22、10/31）
--	---

（４）福祉サービス事業者支援と協働

目 標	市内の福祉・介護サービス事業者に対し、人材育成や研修、情報提供等の支援を行い、地域活動と事業者をつなげるコーディネートを行います。	
	事業名	内 容
事業計画	福祉事業者への支援 【地域づくり】	○合同研修会の開催 ○社協広報誌を活用した情報提供・PR 活動 ○専門職による地域での出前講座開催の働きかけ ○福祉人材の育成・確保についての協働
事業実績		○専門職による地域での出前講座開催の働きかけ ・福祉学習サポーター養成講座への参加の呼びかけ 市内社会福祉法人 4 法人（内 1 法人参加） ・市内小中学校での福祉学習への参画のコーディネートによる協働実施 市内福祉事業所 5 事業所 ○福祉人材の育成・確保についての協働 ・スゴワザ講座「介護に関する入門的研修」への参加案内及び参加者への採用情報の提供 2 法人

（５）社会福祉法人のネットワークの構築・地域貢献推進

目 標	社会福祉法人が創意工夫し、多様な「地域における公益的な取り組み」が展開されるよう、地域課題の共有や取り組みの協働化、地域と法人をつなぐ支援を行います。	
	事業名	内 容
事業計画	社会福祉法人連携による課題解決に向けた協働事業 【地域づくり】 【多機関協働】	○災害時対応等、各法人において共通する取り組み課題となるテーマを設定し、利用者の避難支援・安否確認を目的とした市民との協力体制や、法人間の協力体制構築に向けた協議の場を設ける（社会福祉法人や市民、各種専門機関等が出席する協議のテーブルづくり、各法人（事業所）と市民による災害時避難支援体制構築に関する協議の場のコーディネート）

事業実績	○災害時個別避難支援体制構築に関する自治会・社会福祉法人等福祉専門職による意見交換会（9/7） 参加者数：27人 ○社会福祉法人に対する福祉学習への参画 ・福祉学習サポーター養成講座受講案内の訪問・送付による周知 1法人1人受講 ・市内小中学校での福祉学習への参画のコーディネートによる協働実施 市内社会福祉法人 3法人
------	---

VI. 推進体制の充実・強化

(1) 評議員会・理事会の運営

目 標	地域の実情や福祉に関する社会情勢を把握し、事業運営の進捗管理を行うとともに、法人運営の安定と発展に向けた方策、地域のニーズに応える事業展開について協議・検討します。	
	事業名	内 容
事業 計画	評議員会・理事会の 運営	○評議員会の開催（年3回） ○理事会の開催（年6回） ○理事委員会の開催（随時） ○評議員・役員研修の実施（随時）
事業 実績	○新任評議員研修の開催（6/20） ○評議員会の開催（3回） ・第1回評議員会（6/20） 令和3年度事業・収支決算報告 ・第2回評議員会（決議の省略）令和4年度第1回補正予算 ・第3回評議員会（3/28） 令和4年度第2回補正予算・令和5年度事業計画・収支予算 ○理事会の開催（6回） ・第1回理事会（6/3） 令和3年度事業・決算報告、評議員候補者の選出、評議員選任・解任委員の選任、デイサービスセンター愛らんど等、北部デイサービスセンターきたで〜等、小規模多機能型居宅介護事業所いをぎの家、ケアプランセンター米原市社会福祉協議会、デイサービスセンター愛らんど介護予防・日常生活支援総合事業指定第1号通所事業（総合事業通所介護）等、デイサービスセンター愛らんど介護予防・日常生活支援総合事業指定第1号通所総合事業通所型サービス等、ビジットケアあおば（日常生活支援総合事業）、障がい者相談支援センターほたる、ビジットケアあおば（指定居宅介護支援事業）、ほおずき作業所の運営規程の一部改正、あったかほーむかせのの事業運営の終了に伴う運営規程の廃止 ・第2回理事会（9/29） 正規職員給与規程、准正規職員給与規程、パートタイマー職員給与規程の一部改正 ・第3回理事会（11/18） 令和4年度第1回補正予算・表彰、感謝対象者の決定・第2回評議員会の招集 ・第4回理事会（12/15） 評議員候補者の選出 ・第5回理事会（2/24） 正規職員給与規程、准正規職員給与規程、パートタイマー職員給与規程の一部改正、東部デイサービスセンターはびろ運営規程の一部改正、第3回評議員会の招集 ・第6回理事会（3/24） 公印管理規程の一部改正、令和4年度第2回補正予算、令和5年度事業計画、収支予算、令和5年度第1回評議員会の招集	

	○理事委員会の開催（１回） ・第１回理事委員会（７/２７） 地域福祉活動補助金等の審査 ○評議員選任・解任委員会の開催（６/６、１２/１９）
--	---

（２）情報公開と監査機能の充実

目 標	法人情報等を広く市民に公開し、社会福祉協議会の透明性と公共性を確保します。 また、事業や予算執行の監査、執行機能の評価を行うとともに、内部チェックを実施し、事業の公正性を保ちます。また、事業利用者の利害関係についての適正化に対する監査を実施します。	
	事業名	内 容
事業計画	情報公開・監査機能の充実	○インターネット等を活用した法人情報の公開 ○内部チェックの実施 ・監事による事業・会計監査（年２回） ・法人後見事業に関する運営監視 ○会計・労務等に関する専門機関によるチェックと指導（通年） ○福祉サービスに関する苦情解決事業の実施 ・苦情相談委員会（第三者委員会）による分析と対応協議 （年２回）
事業実績		○法人情報、財務情報、定款等諸規程の公開（ホームページ他により） ○監事による監査の実施（５/２５、１１/４） ○内部チェックの実施 ・権利擁護事業利用者の預り物チェック（６/２２） ○税理士による会計指導（随時） ○福祉サービス解決事業の実施 ・苦情相談委員会の開催（６/２９、１１/２４） ○虐待防止検討委員会の開催（７/７）

（３）会員・会費制度の普及促進

目 標	地域福祉の推進を図るため、市民や事業所、企業等に対し、会費協力を求めるほか、社会福祉協議会の運営への参加を進めます。	
	事業名	内 容
事業計画	会員・会費制度の普及促進	○会員会費のあり方の検討 ○啓発資料（パンフレット等）を活用した普及啓発活動の実施
事業実績		○啓発活動の実施 自治会を通じて各世帯へのチラシ配布、社協広報誌への掲載など ○市内企業・事業所への訪問・啓発（７月）

(4) 財政の健全化

目 標	補助金・委託金・会費・共同募金・寄付金等の充実を図り、財源の確保に努めます。 さらに、経営改善、経費削減に取り組むほか、介護・福祉事業を実施することで生じた収益を、新たな地域福祉事業開発のための資金として活用していきます。																
	事業名	内 容															
事業計画	財政の健全化	○予算の執行管理の徹底 ○善意銀行の活用に関する検討 ○法人募金の推進強化 ○地域福祉推進に向けた事業の立案および予算の確保 ○介護保険事業・障がい福祉サービス収入の1%を目標とした地域貢献的活動への資金活用 ○経営安定化積立金（事業運営積立・施設整備費積立・車輛購入積立・事業開発積立・地域還元積立）の計画的運用															
事業実績		○予算等に関する行政担当部署との協議（随時） ○善意銀行の活用に関する検討（10/4、2/16） ○経営安定化積立金への積立 <table border="0"> <tr> <td>・事業運営積立金</td><td>積立額： 1,725,800 円</td><td>残高： 70,245,000 円</td></tr> <tr> <td>・施設整備積立金</td><td>積立額： 3,293,000 円</td><td>残高： 23,085,000 円</td></tr> <tr> <td>・車輛購入積立金</td><td>積立額： 10,777,200 円</td><td>残高： 41,947,400 円</td></tr> <tr> <td>・事業開発積立金</td><td>積立額： -</td><td>残高： 20,000,000 円</td></tr> <tr> <td>・地域還元積立金</td><td>積立額： 1,527,644 円</td><td>残高： 9,430,140 円</td></tr> </table>	・事業運営積立金	積立額： 1,725,800 円	残高： 70,245,000 円	・施設整備積立金	積立額： 3,293,000 円	残高： 23,085,000 円	・車輛購入積立金	積立額： 10,777,200 円	残高： 41,947,400 円	・事業開発積立金	積立額： -	残高： 20,000,000 円	・地域還元積立金	積立額： 1,527,644 円	残高： 9,430,140 円
・事業運営積立金	積立額： 1,725,800 円	残高： 70,245,000 円															
・施設整備積立金	積立額： 3,293,000 円	残高： 23,085,000 円															
・車輛購入積立金	積立額： 10,777,200 円	残高： 41,947,400 円															
・事業開発積立金	積立額： -	残高： 20,000,000 円															
・地域還元積立金	積立額： 1,527,644 円	残高： 9,430,140 円															

(5) 人材育成と働きやすい職場環境づくり

目 標	職員に求められる姿を明確に示し、業務目標管理を行うとともに、職員の日々の行動や能力の適切な把握と評価により、職員の意欲の向上と能力開発を図り、一人一人の働きがいと専門性を高めるとともに、働きやすい環境づくりを進めます。	
	事業名	内 容
事業計画	人材育成と働きやすい職場環境づくり	○資格取得の促進 ・研修の一元管理 ・受講機会の確保、受講料の補助等 ○キャリアパス・研修制度の充実 ・階層別研修カリキュラムに基づく研修計画の作成と実施 ・新任職員の育成と支援 ・業務目標管理との連動 ○人事考課制度の運用 ・部署ごとに取り組む業務目標管理の実施 ・職員面接（11月、5月、随時）の実施 ・考課者研修の実施 ○働きやすい環境づくり ・行動計画の推進（年次有給休暇・育児休暇等の取得促進、時間外労働の削減等）

		・福利厚生充実 ・職場におけるハラスメント防止対策の徹底（相談研修の実施等）
事業実績		○研修（令和4年度版研修課程）の実施 ・研修受講者（各部署）による復命研修の実施 ・新任職員研修の実施（4/1、5/27、11/15） ※対象者8人 ・定期研修：職員全体研修の実施（4/5） ○人事考課、業務目標管理の実施 ○目標管理実践報告会の開催（2/17） ※滋賀県社会福祉学会での発表（2/22） 行こ家のとせ ○働きやすい環境づくり ・職員の安全衛生に関する検討と実施 衛生委員会の開催（2回）、感染症対策委員会の開催（2/16）、熱中症予防対策の実施、新型コロナウイルス感染予防対策の実施、サポーター等購入補助、昼休憩時の当番制の実施 ○人材確保・定着に向けた取り組みの実施 給与規程の見直し

（6）事業推進体制の強化

目標	地域の関係者や専門分野の意見を得ながら、令和5年度からの事業推進に対する方針を策定するとともに、安定的で効率的な事業運営をめざし、事業運営の改善と、業務の効率化を進めます。	
	事業名	内 容
事業計画	事業推進体制の強化	○事業推進方針（令和5年度～）の策定 現行方針における取組の評価と新たな課題に対する取組方針の検討を行う。 ○介護保険サービスおよび障がい福祉サービスの今後の展開に関する検討（各事業拠点の方向性の検討を含む。）と取組の実施 ○衛生管理体制の確保をはじめ非常時・緊急時における事業継続計画（BCP）の整備、訓練等の実施 ○社会福祉法人の「地域における公益的な取組」との連携（評議員等との意見交換会の開催等） ○法人内連携の促進部門（部署）を横断する検討の場を設け、法人内の情報や課題認識等の共有を図り、総合力をいかした実践に結び付ける。 ・事業推進プロジェクトの実践 地域生活課題に対応する新規事業や社会資源の開発等に関する検討等 ・事例検討会の実施 地域共生社会の実現に向けた包括的支援の視点と実践力を高める。 ・事業活動実習の実施（法人内）

		・中堅職員意見交換会の実施（年３回）
事業実績	○事業継続計画（BCP）の整備 ・全体計画（発災時）の策定、全体計画に基づく事業・サービスごとの計画の整備 ○事業推進プロジェクトの推進 ・業務効率化と職場改善に向けたプロジェクト（５回） 決裁のスピードアップ化についての検討（決裁者および決裁範囲の見直し、公印管理規程の見直し）、電話対応についての検討 ○事例検討会の実施（４回） ○主任・管理者会議の開催（３回） ・収支向上計画の実践について、虐待防止対策について（７／７） ・経営改善に向けた取り組みについて（１２／９） ・感染対策の強化について（２／１６） ・事業継続に向けた取り組みの強化について（２／１６）	